

松江堀川における竹の利活用（水草対策試験） ～まつえ環境市民会議における取り組み～

1. 松江城における竹害の現状

松江市内の森林を見ると、山村の過疎・高齢化に伴い、手入れ不足による森林荒廃が進んでおり、竹に侵食された里山が目立ちます。

松江城山公園においては、公園管理が行われているものの、鎮守の森では竹害が進行しています。



竹害が進行している松江城鎮守の森

2. 松江堀川における水草繁茂の状況

松江堀川では、平成6年度から開始された「清流ルネッサンス」により、下水道の整備や宍道湖水の導水などの行政の取り組みのほか、市民の美化活動や家庭での取り組みなどが行われ、大幅な水質改善がみられました。また、平成9年度からは堀川遊覧船の就航により、松江堀川は松江を代表する観光スポットとなっています。

堀川への宍道湖水の導水は令和6年現在でも継続されていますが、近年では水草・藻が大量に繁茂し、景観及び生活環境等への悪影響が生じています。このため、水草の繁茂状況の巡視や藻刈り（水草の刈り取り）などの維持管理が行われています。



県庁前（R6.7.22 撮影）

県庁前（R6.7.22 撮影）

大手門前（R6.9.13 撮影）

だんだん藻刈り丸

